



シリーズ

武雄の治水

vol.20

～水と共に生きるまちへ～

今回のテーマは

市街地での水害

近年、市内の市街地では、河川の水位によらない浸水被害が局地的に発生しています。今回は、市街地での水害の発生のしくみについて詳しく説明します。

都市型水害 ▶

河川が満水になっていないのに、市街地の道路や住宅街で局地的に発生する水害のこと。

なぜ発生するの？



その1

雨水の浸透能力の低下

アスファルト舗装やコンクリートで覆われた部分が増えたことで、雨水が地中に浸透しにくくなったため。



その2

局地的大雨の増加

「ゲリラ豪雨」と呼ばれる局地的で、降雨量が多い大雨が増加傾向にあるため。

このような要素が重なり、雨水が排水路に一気に流れ込むと...
排水処理能力を超えてしまう！

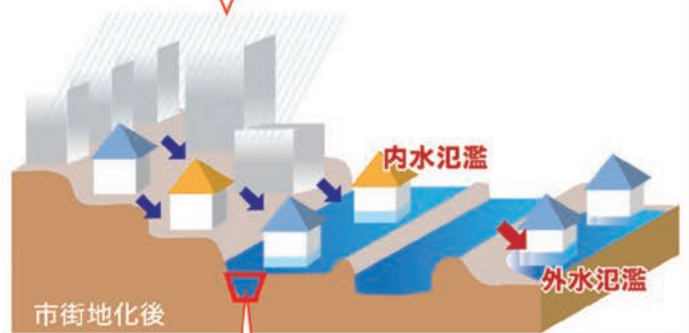
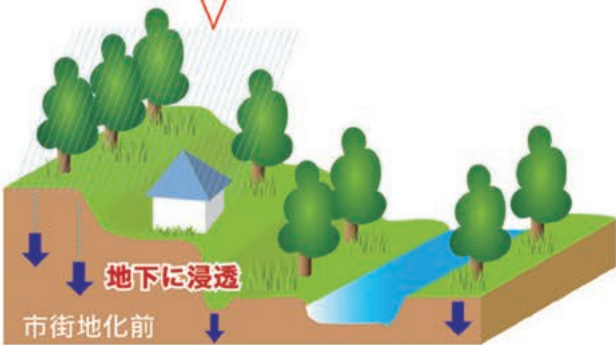


雨水が排水路から溢れ、道路冠水や住宅浸水などの被害が発生します。

◀市街地での道路冠水の状況

どのようなところで発生するの？

昔は田畑だったところが開発され、市街地へと変わっていった場所が多くあります。このような場所は昔より雨水が浸透しにくくなり、地表を流れるようになりました。



その結果 流れた雨水は、市街地の中で特に排水が難しく**ほ地**のような特徴を持つ地域で局地的に水害を発生させています。

市街地での備え

流れやすくする

水路が落ち葉やごみで詰まると、大雨の際に雨水がスムーズに流れません。こまめに清掃して維持管理を行うことが大切です。

少しでもためる

雨水貯留タンクを設置すれば、雨水をできるだけ一気に流さないようにすることもできます。

一時的に防ぐ

一時的に集まった水は、土のうや止水板を設置することで敷地や建物への浸水を防ぐことができます。



落ち葉は雨で詰まりやすい

2023 防災フェスタ
治水シンポジウム
in 武雄

11月12日(日)

10:00 ~ 13:00

武雄市文化会館 小ホール

入場無料

申込不要

第1部 防災に関する講演会

誰も逃げ遅れないために～今こそ近助・共助大作戦～

第2部 治水シンポジウム

特定都市河川と水害に強いまちづくり

詳しくは 企画部 治水対策課 ☎0954-27-7097

シリーズ武雄の治水 バックナンバーはこちらから▶

